

第67回（令和3年度）

# 「前島密賞」募集要綱

公益財団法人 通信文化協会 前島密賞事務局 〒113-8139 東京都文京区湯島4-5-16 TEL：03-5809-7148 / FAX：03-3812-3100 担当： 松原 <a href="http://www.tsushinbunka.org">http://www.tsushinbunka.org</a>
---

## 1 趣旨

「前島密賞」は、近代国家の建設に当たり、社会の基盤となる郵便や物流を初めとしたネットワークを整備し、国民の暮らしに多大な利便性をもたらした通信事業の創始者前島密の功績を記念し、コミュニケーション分野でその精神を伝承発展せしめるため、昭和30年に設けられました。

公益財団法人通信文化協会では、本年、第67回目（令和3年度）の「前島密賞」の表彰を実施します。

また、前回から新たに奨励賞を設け、表彰を実施しています。

## 2 表彰対象

### (1) 前島密賞

情報通信・放送に関わる次に掲げる特に顕著な功績者

ア 情報通信ネットワークの提供及びユニバーサルサービスの維持のために顕著な功績があった者

(ア) 多年にわたり困難な条件の中で、情報通信事業（郵政事業を含む）及び放送事業の発展に大きな貢献をした者及び地道な努力を積み重ね他の模範として極めて大きな貢献をした者

(イ) 日常の業務遂行において、新たな創意工夫をこらすなどして、極めて大きな改善改良を行った者又は団体

(ウ) 多年にわたる地域への貢献活動を通じ、事業の存在基盤を高め、郵便局ネットワークを含む情報通信ネットワークの維持発展に貢献するとともに地域社会の活性化に極めて大きな貢献をした者又は団体

(エ) 天災事故に際し郵便局ネットワークを含む情報通信・放送の機能を守り、一般の模範となる顕著な功労があった者又は団体

イ ICT（情報通信テクノロジー）に係わるイノベーションを発案し、ネットワーク社会の進歩発展に顕著な功績があった者

専門的知識、能力と創意工夫によりICTに係わる新たなシステム、サー

ビスの発案、改善、新規分野の開拓に直接且つ最も深く関わり、事業の進展、サービスの向上に極めて大きな貢献をした者又は団体

ウ ネットワーク社会の進歩発展又はコミュニケーション文化の振興・発展に関し顕著な功績があった者

(ア) 情報通信・放送のネットワークの核としてのコミュニケーション活動の振興に国内外で積極的に取り組み、豊かな社会の実現とネットワーク文化の振興に大きな貢献をした者又は団体

(イ) 自らの積極的なコミュニケーション活動により、コミュニケーション土壌の醸成と文化の向上に大きな貢献をした者

(ロ) 郵便局ネットワーク及び情報通信・放送に関する国の政策・制度の発展に大きな貢献、功績があった者

## (2) 奨励賞

情報通信・放送分野において、現に活躍するとともに実績を上げており、今後ともなお一層の功績が期待される者であって、前記(1)前島密賞の表彰対象に準ずる者（団体は対象外）

## 3 応募期間

令和3年9月1日（水）から9月30日（木）

## 4 推薦要領

(1) 応募は、次の団体からの推薦によるものとします。

ア 総務省

イ 日本郵政株式会社

ウ 日本電信電話株式会社

エ 日本放送協会

オ (一社)電気通信事業者協会

カ (一財)日本ITU協会

キ (一社)日本民間放送連盟

ク (一社)テレコムサービス協会

ケ (一社)電波産業会

コ (一社)日本ケーブルテレビ連盟

なお、当協会からも推薦する場合があります。

(2) 表彰歴（前島密賞に限る。）

所属する組織内に表彰制度のあるものは、その最高レベルの表彰を受けていること、あるいは組織外の権威ある表彰を受けていること。

(3) 推薦の方法

ア 推薦は、別添様式の推薦調書によってください。

なお、推薦に当たって、被推薦者に、必ず授賞されるものと誤解が生じないよう配意願います。

※ 推薦調書の様式は通信文化協会ホームページからも取り出せます。

<http://www.tsushinbunka.org/maejima.html>

- イ 業績に関する文献、映像等の資料があれば添付してください。  
この場合、「添付資料一覧」を作成してください。
- ウ 推薦内容について、各推薦機関のご担当者から説明をいただくことがあります。
- エ 推薦調書の記述に当たっては、次の点に配慮してください。
- (ア) 推薦調書様式
- ・ 前島密賞： 個人用又は団体用と共同研究用の2様式
  - ・ 奨励賞： 個人用と共同研究用の2様式
- (イ) 候補者の功績内容は、出来る限り具体的に記述してください。
- (ロ) 技術関係候補者の功績内容については、研究成果の実用化の状況も記述してください。また、複数人の共同研究によるものについては、それぞれの候補者が当該研究のどの分野を担当したのかを具体的に記述してください。
- (ハ) 奨励賞については、現在の功績と今後の功績の見込みについて、それぞれ記述してください。
- (ニ) 推薦機関内における推薦順位
- 推薦機関内で複数の候補者を推薦する場合は、推薦機関内での推薦順位を付してください。
- なお、前島密賞については、功績対象別（号別）に推薦順位を付してください。
- 全体の授賞数が協会の予定数を超えた場合は、推薦機関の推薦順位をも考慮して授賞者を選考することとしています。

## 5 選考・決定

- (1) 授賞候補者は、情報通信・放送及びコミュニケーション分野等の専門家及び有識者で構成する選考委員会で審査・選考します。
- (2) 授賞者は、選考委員会の選考結果に基づき、通信文化協会の理事会で決定します。

## 6 表彰

- (1) 表彰件数（目安）
- ア 前島密賞  
16件（個人10件、共同研究5件、団体1件）
- イ 奨励賞  
数件程度
- (2) 共同研究の対象者数
- ア 前島密賞  
2人以上5人まで。

#### イ 奨励賞

原則2人まで。

(3) 授賞者には、賞状と副賞を贈呈し、副賞は次のとおりです。

#### ア 前島密賞

- ・ 個人表彰： メダル（20万円相当）
- ・ 共同研究： 一人につき賞金 10万円
- ・ 団 体： 賞金 50万円

※ 授賞者のうち特に高度な功績があったと認められた者には、前島密賞（特別賞）を贈呈します。特別賞は、賞状と副賞として金品 50万円相当を贈呈します。

#### イ 奨励賞

- ・ 個人表彰： 楯（5万円相当）
- ・ 共同研究： 授賞者それぞれに楯（5万円相当）

(4) 授賞者については、贈呈式に先立って報道機関に対して、その氏名と功績要旨を公表します。

## 7 推薦から選考・決定、贈呈式までの流れ

(1) 推薦の受付（募集期間）

令和3年9月1日（水）～9月30日（木）

(2) 選考委員会による選考

① 第1回選考委員会

令和3年10月27日（水）

② 第2回選考委員会

令和3年12月10日（金）

(3) 授賞者の決定（通信文化協会理事会）

令和4年2月（予定）

(4) 報道発表

令和4年2月（予定）

(5) 贈呈式

令和4年4月（予定）

前島密賞 選考委員会 選考委員名簿

令和3年6月1日現在  
(敬称略・五十音順)

氏名	主な職歴等
秋葉 重幸	元(株)KDDI 研究所長
石戸 奈々子	特定非営利活動法人 CANVAS 理事長 慶應義塾大学教授
井上 友二	のうえノバ株式会社 代表取締役社長 前(株)トヨタ IT開発センター 代表取締役会長 元NTT 取締役 研究企画部門長
内海 善雄	元ITU 事務総局長
大森 慎吾	(一社) YRP 国際連携研究所代表理事 所長
斎尾 親徳	(公財)通信文化協会理事長
佐村 知子	(公財)通信文化協会理事 元内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官補
辻 篤子	科学ジャーナリスト 中部大学特任教授 元朝日新聞社論説委員
堀木 卓也	(一社)日本民間放送連盟常務理事
吉野 武彦	元NHK 専務理事・技師長
選考委員長 吉村 和幸	元通信総合研究所長

第67回(令和3年度) 前島密賞 候補者推薦調書

功績対象	前島密賞規程第2条第2項第 号	推薦機関	( 位) 同じ号で複数人推薦の場合
		推薦順位	
(ふりがな) 氏名又は 団体名	( )	経 歴  (団体の場合は、関係機関・会社名、代表者名などの関連事項を記載)	(採用年月日) 西暦 年 月 日  (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦 年 月 日 満 歳 (2022. 4. 2 現在)		(退職年月日) 西暦 年 月 日  (退職後の職歴)
現住所	〒		
連絡先 Tel			
連絡先 E-mail			
最終学歴			
表彰歴			
候補者の功績概要			
功績タイトル			
<p>[1 事業・社会・国民生活向上に及ぼした影響などについて、功績の概要を記述。]</p> <p>[2 功績2号は、1の他に、功績に関する発明・開発等に関して、その独自性・先進性等を記述。]</p> <p><b>【功績概要】</b></p>			
添付資料の有無	1 資料あり (別紙「添付資料一覧」参照)	2 資料なし	

<記入留意点>

- ①功績は、候補者がどのようにして該当功績を成し遂げたかを具体的に記述してください。
- ②前島密賞の功績が、同じ号で複数の候補者を推薦する場合は、推薦順位を付してください。

(推薦機関)

(候補者)

【功績詳細】(1000字以内程度)

別紙

添付資料一覧（前島密賞用）

推薦機関名：\_\_\_\_\_

候補者名：\_\_\_\_\_

資料番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	



第67回(令和3年度) 前島密賞 候補者推薦調書

功績対象	前島密賞規程第2条第2項第 号	推薦機関	
		推薦順位	( 位) 同じ号で複数人推薦の場合
候補者の功績概要			
功績タイトル			
<p>[1 事業・社会・国民生活向上に及ぼした影響などについて、功績の概要を記述。]</p> <p>[2 功績2号は、1の他に、功績に関する発明・開発等に関して、その独自性・先進性等を記述。]</p> <p>【功績概要】</p>			
添付資料の有無	1 資料あり (別紙「添付資料一覧」参照)		2 資料なし
共同研究者1 (代表者)	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦 年 月 日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦 年 月 日 満 歳 (2022. 4. 2 現在)		
現住所	〒		
連絡先 Tel			
連絡先 E-mail			
最終学歴			(退職年月日) 西暦 年 月 日
表彰歴			(退職後の職歴)

<記入留意点>

- ①功績は、候補者がどのようにして該当功績を成し遂げたかを具体的に記述してください。
- ②前島密賞の功績が、同じ号で複数の候補者を推薦する場合は、推薦順位を付してください。

		(推薦機関)	
共同研究者 2	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦           年   月   日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦           年   月   日 満   歳 (2022. 4. 2 現在)		
現住所	〒		
連絡先 Tel			(退職年月日)
連絡先 E-mail			西暦           年   月   日
最終学歴			(退職後の職歴)
表彰歴			
共同研究者 3	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦           年   月   日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦           年   月   日 満   歳 (2022. 4. 2 現在)		
現住所	〒		
連絡先 Tel			(退職年月日)
連絡先 E-mail			西暦           年   月   日
最終学歴			(退職後の職歴)
表彰歴			

		(推薦機関)	
共同研究者 4	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦           年   月   日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦           年   月   日 満   歳 (2022. 4. 2 現在)		
現 住 所	〒		
連絡先 Tel			(退職年月日)
連絡先 E-mail			西暦           年   月   日
最終学歴			(退職後の職歴)
表彰歴			
共同研究者 5	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦           年   月   日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦           年   月   日 満   歳 (2022. 4. 2 現在)		
現 住 所	〒		
連絡先 Tel			(退職年月日)
連絡先 E-mail			西暦           年   月   日
最終学歴			(退職後の職歴)
表彰歴			

(推薦機関)

【功績詳細】（功績全体に関して1000字以内程度。共同研究者個人別に、その功績、取組みに関して200字から300字程度。）

別紙

添付資料一覧（前島密賞用）

推薦機関名：\_\_\_\_\_

候補者名：\_\_\_\_\_（共同研究の場合は、代表者のみ）

資料番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	

第67回(令和3年度) 奨励賞 候補者推薦調書

功績対象	奨励賞	推薦機関	( 位) 複数人推薦の場合
		推薦順位	
(ふりがな) 氏名	( )	経歴	(採用年月日) 西暦 年 月 日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦 年 月 日 満 歳 (2022. 4. 2 現在)		
現住所	〒		
連絡先 Tel			
連絡先 E-mail		表彰歴	
最終学歴			
候補者の功績概要			
功績タイトル			
【功績概要】(欄外の注1により記述してください。)			
【今後の功績見込み(概要)】(欄外の注2により記述してください。)			
添付資料の有無	1 資料あり(別紙「添付資料一覧」参照)		2 資料なし

注1： 事業・社会・国民生活向上に及ぼした影響などについて、功績の概要を記述。発明・開発等に関しては、その独自性・先進性等も記述。

注2： 功績概要にある功績の分野や関連分野において、今後、なお一層、どのような功績が期待されるのかを記述。

(推薦機関)

(候補者)

【功績詳細】(現在の活躍・功績 500～700字程度)

【今後の功績見込み(詳細)】(今後の活躍・功績の見込み 300～500字程度)

注： 功績詳細及び今後の功績見込み(詳細)について、合わせて1000字以内程度。

別 紙

添付資料一覧（奨励賞用）

推薦機関名：\_\_\_\_\_

候補者名：\_\_\_\_\_

資料番号	資 料 名
1	
2	
3	
4	
5	



第67回(令和3年度) 奨励賞 候補者推薦調書

功績対象	奨励賞	推薦機関	( 位) 複数人推薦の場合
		推薦順位	
候補者の功績概要			
功績タイトル			
【功績概要】(欄外の注1により記述してください。)			
【今後の功績見込み(概要)】(欄外の注2により記述してください。)			
添付資料の有無	1 資料あり(別紙「添付資料一覧」参照)		2 資料なし
共同研究者1 (代表者)	(ふりがな) ( ) 氏名	経歴	(採用年月日) 西暦 年 月 日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦 年 月 日 満 歳 (2022. 4. 2 現在)		
現住所	〒		
連絡先 Tel			
連絡先 E-mail		表彰歴	
最終学歴			

注1: 事業・社会・国民生活向上に及ぼした影響などについて、功績の概要を記述。発明・開発等に関しては、その独自性・先進性等も記述。

注2: 功績概要にある功績の分野や関連分野において、今後、なお一層、どのような功績が期待されるのかを記述。

		(推薦機関)	
共同研究者 2	(ふりがな) ( ) 氏 名	経 歴	(採用年月日) 西暦 年 月 日 (略歴)
生年月日 (年齢)	西暦 年 月 日 満 歳 (2022. 4. 2 現在)		
現 住 所	〒		
連絡先 Tel			
連絡先 E-mail		表彰歴	
最終学歴			

(推薦機関)

【功績詳細】(全体に関する現在の活躍・功績について、500～700字程度。共同研究者個人別に、100～200字程度。)

【今後の功績見込み(詳細)】(全体に関する今後の活躍・功績の見込みについて、300～500字程度。共同研究者個人別に、100～200字程度。)

注：全体に関する功績詳細及び今後の功績見込み(詳細)について、合わせて1000字以内程度。

別紙

添付資料一覧（奨励賞用）

推薦機関名：\_\_\_\_\_

候補者名：\_\_\_\_\_（共同研究の場合は、代表者のみ）

資料番号	資料名
1	
2	
3	
4	
5	